

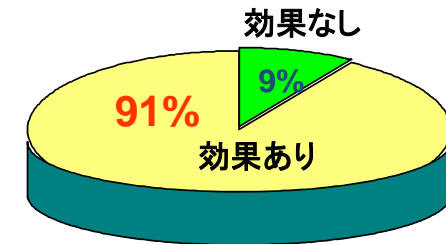
## 海洋深層水を利用した健康増進を目的とした統合医療の構築

高知大学 医学部 講師 竹内啓晃

### ○研究シーズ概要

室戸沖の海洋深層水(水深344mから採取)を脱塩処理した飲料用の調整海洋深層水は清浄性や安定性及び豊富なミネラル成分を含む生命の源「水」である。その長期飲水による生体内効果・効能(ヒトの検証結果)は、免疫能亢進、降圧効果、末梢血管血流量の増加、アレルギー改善、貧血改善、整腸作用などを認め、副作用は認めない。さらに、胃内に感染する病原細菌(ピロリ菌)に対する抗生物活性を有する事も明らかにした。

このような医科学的検証を経た調整海洋深層水は全国民の健康増進を目的に予防あるいは治療の補助的手段としても利用できる。また、検証した範囲では飲水に当って薬剤併用の問題も無く、「水」ゆえに基礎疾患等(本人が自覚していない疾患含む)を心配する必要もなく安全である。



調整海洋深層水(ミネラル比の異なる5種類)飲水による胃内ピロリ菌数を評価(尿素呼気試験)。参加協力者23名中91%に効果(菌数減少)を認めた。

### <(想定される)応用範囲／今後の展望>

調整海洋深層水は含有ミネラル比や濃度を調整し、体に最適な「水」が創出できる。さらに、工夫・アイデア次第で飲水方法や他成分の添加など調整海洋深層水をベースにしたより効果的な製品創出が可能となる。医科学的に検証された製品は、飲水・摂取による健康維持増進や医療への利用が期待でき、海洋深層水を用いた統合医療の構築が可能である。